

特集 地産地消による元気なまちづくり

地方では人口の減少・少子高齢化など過疎による深刻な現況がある。地方の中心都市でも郊外に量販店が出店し市街地が空洞化しつつある。都市近郊でも量販店の撤退により買い物難民が増えている。さらに景気の後退により、ますます、地域のコミュニティが衰退・解体し、「まち」に大きな影響が出始めている。

特集では、「地産地消による元気なまちづくり」として、今回は食材を含めた地域の特産品などの地域資源を活用して、それぞれの立場から消費者の安全・安心志向に配慮し、販売の多様化にチャレンジしながら、新しいコミュニティづくりに取り組んでいる組織・団体を紹介することとした。

「地産地消」は、単に地域の「食材（資源）」を消費するだけではなく、「もの（資源）」をとおして「ひと（心）」がつながることが原点であり、商品を通じて生産者と消費者が「顔が見え、話ができる」機会を提供している取り組みである。

「まちづくり」の取り組み方法は様々であるが、特産品などを活用しながら、コミュニティ機能を高め地域を活性化させる取り組みは、地域を再生する一つの手法として大いに期待している。（研究員 武田 昭文）

■表紙のことば

8月下旬、東温市川之内地区にある棚田の一面の休耕田で、蕎麦の種まきが始まる。

蕎麦作りは初めての事。今回は10数人の人たちが準備を始めていた。NPO法人、ボランティア、そして地元の農家の協力を得て、収穫までを成し遂げる。ただ作るだけでは長続きし

ない。「何かやってみんかい！」の掛声に、蕎麦を種まきから、打って食べるという遊び心（ロマン）を持つ、楽しい仲間達との共同作業に励む。さて、どのような蕎麦が口に入ることやら…。

柳原あや子



●**アングル**

農家の食ビジネスと地域活性化

鎌田 秋吉／愛媛県担い手育成総合支援協議会アドバイザー 1

●**特集／地産地消による元気なまちづくり**

地恵地楽ダイニング青空食堂

坂東 一輝／地恵地楽ダイニング青空食堂オーナー（松山市） 2

誰が困るん

越智 尚司／地もの市場 田舎家 店長（四国中央市） 4

ぎんこい市場の物語

向井 京子／ぎんこい市場 代表（松山市） 6

久万高原木にこだわりのまちづくり

～地産地消の家づくり編～

田中 豊嗣／木にこだわりのまちづくり 研究アドバイザー（久万高原町） 8

新鮮、安全、おいしい、懐かしい人気の産直商品

和気 数男／百姓百品株式会社 代表取締役（西予市） 10

花真珠でまちづくり

高倉 純子／企業組合 Women's Nest 理事長（宇和島市） 12

●**論壇**

農協に期待される

「地域資源を活用した地域再生へのとりくみ」

村田 武／愛媛大学社会連携推進機構教授（愛媛大学うわじまサテライト長） 14

●**キラリ光るまち／三重県多気町**

高校生レストラン、本日も満席

村林 新吾／食物調理科専門調理師教諭（三重県立相可高校） 16

●**特選ブログ／shin 1さんの日記**

地域資源を活用した地域再生

若松 進一／人間牧場主 18

●**研究員卒業レポート**

「出会い」という財産

坂本 耕紀／客員研究員（久万高原町企画観光課） 20

●**MY TOWN うおっちゃんぐ**

鍔絵飾りの近代和風赤松家

岡崎 直司／タウンツーリズム講座主宰・ヘリテージマネージャー 22

●**TALK NOW**

「共働で地域力発揮」

門屋 哲朗／NPO法人 なもし開縁隊 代表 24

●**研究員レポート**

全国過疎問題シンポジウム 2009 in ながの

武田 昭文／研究員 26

●**information**

地域づくりコーディネーター派遣事業

28

●**Book information**

29